

1. 件名：新規制基準適合性審査に関する事業者ヒアリング（東海第二（947））
2. 日時：平成30年5月15日 17時28分～17時38分
3. 場所：原子力規制庁 8階会議卓

4. 出席者

原子力規制庁：

（新基準適合性審査チーム）

矢野審査チーム員、高嶋原子力規制専門員

事業者：

日本原子力発電株式会社：発電管理室 プラント管理グループ 主任

5. 要旨

- (1) 日本原子力発電株式会社から、平成26年5月20日に申請、平成29年1月24日及び平成30年2月13日に一部補正のなされた東海第二発電所の工事計画認可申請について、当該申請書に係る補足説明資料の一部が提出された。
- (2) 原子力規制庁から、事業者の準備が整ったものからヒアリングを進め、必要に応じて指摘を行っていく旨を伝えた。
- (3) 日本原子力発電から、了解した旨の回答があった。

6. その他

提出資料：

- ・可搬型重大事故等対処設備の耐震計算方針
- ・可搬型重大事故等対処設備のうち車両型設備の耐震性についての計算書
- ・可搬型重大事故等対処設備の水平2方向及び鉛直方向地震力の組合せに関する影響評価結果
- ・工事計画に係る補足説明資料 耐震性に関する説明書のうち 補足-340-3【可搬型重大事故等対処設備の耐震性に関する説明書に関する補足説明資料】
- ・東海第二発電所 工事計画審査資料 計測制御系統施設のうち 発電用原子炉の運転を管理するための制御装置（本文）
- ・東海第二発電所 工事計画審査資料 その他発電用原子炉の附属施設のうち 緊急時対策所（本文）
- ・使用済燃料貯蔵槽の温度、水位及び漏えいを監視する装置の構成に関する説明書並びに計測範囲及び警報動作範囲に関する説明書
- ・工事計画に係る補足説明資料 工事計画に係る説明資料（核燃料物質の取扱施

設及び貯蔵施設)のうち使用済燃料貯蔵槽の温度、水位及び漏えいを監視する装置の構成に関する説明書並びに計測範囲及び警報動作範囲に関する説明書
補足-170-1【使用済燃料貯蔵槽の温度、水位及び漏えいを監視する装置の構成並びに計測範囲及び警報動作範囲について】

- ・ 安全設備及び重大事故等対処設備が使用される条件の下における健全性に関する説明書に係る補足説明資料のうち 補足-40-4 使用済燃料プール監視カメラ用空冷装置について
- ・ 東海第二発電所 工事計画審査資料 その他発電用原子炉の附属施設のうち
非常用電源設備 その他の電源装置 (本文)
- ・ 東海第二発電所 工事計画審査資料 その他発電用原子炉の附属施設のうち
非常用電源設備 その他の電源装置 (添付書類)
- ・ 東海第二発電所 工事計画審査資料 その他発電用原子炉の附属施設のうち
非常用電源設備 非常用発電装置 (緊急時対策所用発電機) (本文)
- ・ 東海第二発電所 工事計画審査資料 その他発電用原子炉の附属施設のうち
非常用電源設備 非常用発電装置 (緊急時対策所用発電機) (添付書類)